

平成26年8月21日

第10回 倉吉市教育委員会定例会

倉吉市教育委員会

第10回倉吉市教育委員会定例会 日程

日 時 平成26年8月21日(木) 午後3時30分

場 所 倉吉市役所 第3会議室

1 開 会

2 前回会議録承認

3 会議録署名委員の選出

4 教育長報告

5 議 事

議案第39号 平成26年度教育費補正予算について …………… 1

議案第40号 平成27年度に使用する小学校教科用図書の採択について
…………… 5

議案第41号 市立小中学校教職員の処分について …………… 12

6 報告事項

各課報告(別紙)

7 その他

8 閉 会

議案第39号

平成26年度教育費補正予算について

次のとおり平成26年度教育費補正予算を要求することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第29条の規定により、本委員会の意見を求める。

平成26年8月21日提出

倉吉市教育委員会教育長 福井 伸一郎

平成26年度 補正予算説明書 (抄)
(総務費・教育費)
平成26年9月

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (単位 千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			節		説明	
				特定財源			一般財源	区分		金額
				国県支出金	地方債	その他				
6. 財産管理費	259,219	405,090	664,309			60,300	344,790	25. 積立金	335,300	教育振興基金積立金 1,100 博物館資料整備基金積立金 1,770
計	2,639,342	365,206	3,004,548			60,300	344,790			

(款) 10. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (単位 千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			節		説明	
				特定財源			一般財源	区分		金額
				国県支出金	地方債	その他				
2. 事務局費	213,925	△ 4,690	209,235				△ 4,690	2. 給料	△ 3,211	一般職給 △ 3,211
								3. 職員手当等	△ 652	扶養手当 138 管理職手当 415 通勤手当 △ 122 期末手当 △ 645 勤勉手当 △ 438
								4. 共済費	△ 827	共済組合負担金 △ 827
計	216,460	△ 4,690	211,770				△ 4,690			

(款) 10. 教育費 (項) 2. 小学校費

1. 学校管理費	215,269	9,699	224,968				9,699	13. 委託料	1,048	設計監理委託料 1,048
								15. 工事請負費	8,651	維持補修工事 8,651
3. 学校建設費	210,283	48,520	258,803		40,900		7,620	13. 委託料	48,520	設計業務委託料 43,167 耐震診断業務委託料 5,353
計	508,975	58,219	567,194		40,900		17,319			

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(単位 千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			節		説明		
				特定財源			一般財源	区分		金額	
				国県支出金	地方債	その他					
1. 学校管理費	98,421	27,728	126,149				27,728	3. 職員手当等	△ 33	勤勉手当	△ 33
								4. 共済費	11	共済組合負担金	11
								13. 委託料	1,750	設計業務委託料	1,750
								15. 工事請負費	26,000	維持補修工事	26,000
4. 学校建設費	0	9,388	9,388				9,388	13. 委託料	9,388	耐震診断業務委託料	9,388
計	180,857	37,116	217,973				37,116				

(款) 10. 教育費

(項) 4. 社会教育費

1. 社会教育 総務費	83,739	13,085	96,824				13,085	2. 給料	5,547	一般職給	5,547		
								3. 職員手当等	5,406	扶養手当	1,038		
										住居手当	214		
										管理職手当	554		
								時間外及び休日勤務手当	1,103				
								通勤手当	32				
								期末手当	1,641				
								勤勉手当	824				
								4. 共済費	2,132	共済組合負担金	2,132		
3. 文化事業費	100,831	4,800	105,631				4,800	4. 共済費	13	社会保険料	13		
								7. 賃金	4,060	労務賃金	4,060		
										11. 需用費	245	消耗品費	166
												燃料費	49
								修繕料	15				
5. 博物館費	118,611	2,777	121,388				2,777	12. 役務費	4	手数料	4		
								14. 使用料及び 賃借料	478	器具借上料	65		
										機会借上料	413		
								2. 給料	1,525	一般職給	1,525		
3. 職員手当等	643	扶養手当	60										
		期末手当	444										
								勤勉手当	139				
								4. 共済費	609	共済組合負担金	609		

(款) 10. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(単位 千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			節		説明		
				特定財源			一般財源	区分		金額	
				国県支出金	地方債	その他					
7. 図書館費	139,548	△ 4,057	135,491				△ 4,057	2. 給料	△ 2,413	一般職給	△ 2,413
								3. 職員手当等	△ 959	扶養手当	△ 312
										通勤手当	△ 28
										期末手当	△ 333
										勤勉手当	△ 286
								4. 共済費	△ 685	共済組合負担金	△ 685
8. 生涯学習費	23,784	△ 377	23,407				△ 377	2. 給料	179	一般職給	179
								3. 職員手当等	△ 637	扶養手当	△ 510
										通勤手当	△ 81
										期末手当	△ 83
										勤勉手当	37
								4. 共済費	81	共済組合負担金	81
計	597,862	16,228	614,090			4,800	11,428				

(款) 10. 教育費

(項) 5. 保健体育費

1. 保健体育 総務費	48,168	1,071	49,239				1,071	2. 給料	632	一般職給	632
								3. 職員手当等	133	扶養手当	△ 42
										通勤手当	△ 73
										期末手当	139
										勤勉手当	109
								4. 共済費	306	共済組合負担金	306
3. 学校給食 センター費	653,481	△ 1,466	652,015				△ 1,466	2. 給料	△ 1,176	一般職給	△ 1,176
								3. 職員手当等	△ 218	扶養手当	△ 138
										住居手当	△ 42
										時間外及び休日勤務手当	767
										通勤手当	△ 202
										期末手当	△ 261
										勤勉手当	△ 342
								4. 共済費	△ 72	共済組合負担金	△ 72
計	964,981	△ 395	964,586				△ 395				

議案第40号

平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択について

平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第13条第4項の規定により承認を求める。

平成26年8月21日提出

倉吉市教育委員会教育長 福井 伸一郎

平成27年度に使用する小学校教科用図書の採択結果

中部地区小学校教科用図書採択協議会

	教科・種目		発行者	書名
①	国語	国語	東京書籍	新編 新しい国語
②		書写	東京書籍	新編 新しい書写
③	社会	社会	東京書籍	新編 新しい社会
④		地図	東京書籍	新編 新しい地図帳
⑤	算数	算数	啓林館	わくわく算数
⑥	理科	理科	東京書籍	新編 新しい理科3～6
⑦	生活	生活	啓林館	わくわく/いきいき せいかつ 別冊
⑧	音楽	音楽	教育芸術社	小学生の音楽
⑨	図画工作	図画工作	日本文教出版	図画工作
⑩	家庭	家庭	開隆堂	わたしたちの家庭科
⑪	保健	保健	学研教育みらい	新・みんなの保健

平成26年度 中部地区教科用図書採択協議会

8月5日（火）10：00～

倉吉交流プラザ 第1研修室

（採択理由）

国語 東京書籍 「新編 新しい国語」

- 各学年の巻頭に、「学習の進め方」が示され、「つかむー取り組むー振り返るー広げる」の学び方が定着するよう配慮されている。
- 「話す・聞く」「書く」の領域を組み合わせて構成している単元が多い。
- 言語について視覚化、動作化という特別支援教育の視点も重視している。
- 手引きによって学習を進めていけばわかりやすく、児童の発達段階に応じて、つきたい力と活動の系統性が考慮されている。
- 題材の選び方については、東京書籍も光村も優れた作品を選んでいるが、1年間の学習の流れとして、音読・朗読で1年がスタートし、音読・朗読で終わるように構成の工夫が見られる。

書写 東京書籍 「新編 新しい書写」

- 手引きにそって、児童が主体的に学習できるようになっている。
- 「折れ」等がきちんとかける具体的なポイントが示されている。
- 毛筆教材の左端に示されたインデックスにより、書写用語や既習事項を繰り返し確認できるようになっている。それによって、学習課題が具体的に捉えられる。
- 全体的に古文や漢文をなぞり書きする活動が設けられており、「うた」「春の七草」「俳句」「百人一首」「竹取物語」「論語」というように発達段階をふまえた教材が配列され、伝統と文化に触れ、書いて味わうことができるようになっている。
- 新聞の題材などを通して、防災への意識を高めることができたり、毛筆の題材を通して道徳心を養うことができるように配慮したりしてある。

社会 東京書籍 「新編 新しい社会」

- 基本的な学習の進め方（つかむ→調べる→まとめる→いかす）を示している。特

に、「まとめる」では、今までの「学習問題」や「ことば」を集約して掲載されており、図や表に自分の考えを書き込む事ができ、学習したことをまとめたり、振り返ったりしやすい工夫がなされている。

- いろいろな仕事や活動に取り組んでいる人の話を多く載せて、それぞれの人の生き方に共感しながら学ぶことができる。
- 資料が細部まで正確でわかりやすく、「課題づくり」「調べる資料」「地域調べのきっかけ」と学習の幅が広がりやすい。
- 学習問題について予想するコーナーがあり、見通しを持って学習が取り組めるようになっている。
- 資料と関連した記述をもとに課題が提示してあり、豊富な資料で細部まで丁寧に表示され、読みやすい。

地図 東京書籍 「新編 新しい地図帳」

- 「ながめてみよう日本のすがた」では、北方領土から南西諸島までを一望する地図を掲載している。特に、なじみのある隠岐の島が、分離枠で表示されておらず見やすい。
- 帝国書院の方がデータ量が多いが、文字が小さくて見にくい。学習するにあたって東京書籍は、児童の実態に合わせて、文字情報の量より見やすさを優先し、文字や記号を大きくはっきりと表記している。
- A4サイズで、地図も大きく見やすい。

算数 啓林館 「わくわく算数」

- 「学習の進め方」で、児童が学習の流れをイメージしたり、問題を解くときに課題解決の方法を確認することができる。
- 単元はじめや各時間のめあてが赤字で示してある。本時の主問題とまとめが枠で囲んであり、児童も教師も確認することができる。算数の指導が堪能でない教師にも指導しやすいように工夫されている。
- 2年生以上で、文章題単元「考えよう、深めよう」を設定し、論理的な思考力の育成を図ることができる。
- 「かけ算」に続いて「わり算」の指導が位置づけられており、2学年からの学習がスムーズに移行している。
- ノートづくりのポイント「わくわく算数ノート」が設定されており、学習の軌跡としてのノート指導に役立つ。

理科 東京書籍 「新編 新しい理科3～6」

- 各学年とも問題解決の流れ、「問題」「予想」「計画」「実験・観察」「結果」「考察」「まとめ」を明確にして構成されている。
- 問題、予想、実験・観察までが前ページに、結果については次ページに記載されており、児童の課題解決意欲を継続させる工夫がなされている。
- 大きく見やすい導入写真によって、課題をつかみやすくしている。
- 4年生以上では、目次ではなく、領域の区分によって単元を示すとともに、前学年で学習した単元も示しており、系統性を意識している。
- 各単元の終わりには「たしかめよう」があり、学習指導要領の内容定着を図るための工夫がある。
- 写真やイラスト、文章が精選されており、簡素で見やすい。

生活 啓林館 「わくわく／いきいき せいかつ 別冊」

- 「わくわくいきいきせいかつたんけんブック」が別冊としてあり、児童が調べ学習をするときに資料として活用できる。
- わくわく（導入）、いきいき（主な活動）、つたえあう（交流活動）、ちゃれんじ（広げて深める）の4段階の構成になっており、4段階がわかりやすく、また支援がしやすい。
- 家族や地域の人との交流、小動物と触れ合う活動、伝え合う活動の後には、「ありがとう」を表すページが設けられていて、生活科と道徳の内容、社会や理科との関連も考えて構成されている。
- 祖父母を含めた家族や地域との交流を扱う部分がありよい。
- 「すてきな～をみつけたよ」「えがおを見つけよう」等の表現が児童の学習意欲を喚起するものとなっている。
- 文字、写真、イラスト、学習カード等が大きく、配列もすっきりしてわかりやすい。

音楽 教育芸術社 「小学生の音楽」

- 各学年で学んだ学習事項を、児童が自分で振り返り、確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学力の定着が図られるように配慮されている。

- 感じ取ったことをもとに思考判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては、譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらをもとに言語活動の充実が図られるようになっている。
- 表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材を活かした多様で効果的な学習が展開できるようになっている。
- 教育出版社と比較して、児童につけたい力がより明確であり、活用しやすい。

図画工作 日本文教出版 「図画工作」

- 各題材の始まりに小さな黒板が掲げられている。学習のめあてが4観点で必ず表記されており、準備から取り組みまでの自主的な態度形成への配慮がなされている。表現も児童の視点で表記されている。
- 学年に応じて、参考作品についての制作の思いや工夫が文章でしっかり書かれていることで、それぞれの表現の多様さを感じることができる。
- 全体を通して、「ためす・かかわる・つくりだす」子どもの姿が多く掲載されており、作品を制作する過程が大切にしている。
- 版画が取り上げられている。中部は、版画に力を入れているので使いやすい。
- 子どもの目線での作品が選ばれ、創られている。

家庭 開隆堂 「わたしたちの家庭科」

- 5, 6年生の2年間を貫く視点として、自分の成長に気づき、これからの自分の成長を展望できる題材を学年中途や学年末に適切に設定している。
- 家庭生活や家族の題材が学年の最初にあり、生活を見つめ直すことから学習を始めることができる構成となっている。さらに、最終題材には、他者との共生につながる題材が配置されている。
- 人との関わりの中で、自分の生き方を考えていくのが家庭科のスタートであるという考え方を明記している。
- 食育に関するページには「食育マーク」、防災教育の観点での学習内容との関連ポイントを「防災マーク」で掲載するなど、マーク表示を用いて学習の深まり・広がりを期待する工夫がある。

保健体育 学研教育みらい 「新 みんなの保健」

- 「かがくの目」のコーナーで、レントゲン写真や実験結果など見えないものを視

覚化した科学的な資料を掲載している。

- 学習内容ごとに「ここで学ぶこと」が明記されており、学習内容を確認することができる。
- 「もっと知りたい・調べたい」コーナーに多くのページをあてており、発展性がある。本文との関連性も深く、今日的な課題・話題を取り上げ、興味・関心に答える内容であり、資料も多く掲載されている。
- 5年「けがの手当」等、丁寧な記述やイラストでわかりやすく説明している。

特別支援

☆本　　こくご☆、☆☆、☆☆☆

さんすう☆、☆☆（1）（2）、☆☆☆

おんがく☆　☆☆、☆☆☆

- 知的障がい特別支援学校や知的障がい特別支援学校小学部の教育課程に準じた内容で学ぶ児童にとって、わかりやすく作られている。
- 現行の教科書と比べてみると、地の色が白に変わっているページが多く、記述されていることが見やすくなっている。
- 教科書の内容が、個々の児童の発達段階に合わせて、生活単元学習などで活用しやすく配列してある。

同成社　こくご入門編1，2　　こくご1，2，3
算数1，2，3，4，5，

- 指導の展開が題材の始めに記してあり、ねらいの明確な指導がしやすい。
- 書き込みしながら学ぶことができる。鉛筆で記入しやすい用紙が使用されている。
- 文字の読み書き、数と計算などの基礎的・基本的な学習を中心にして構成されていて、基礎・基本の確実な定着に向いている。
- 小学校の知的障がい特別支援学級の児童の指導に向いている。基礎的・基本的な内容が多いので、個々の児童の発達段階に合わせて補助教材として使用しやすい。

一般図書　　○児童の実態に合わせて、選択活用する。

議案第 4 1 号

市立小中学校教職員の処分について

市立小中学校教職員の処分について、次のとおり提出します。

平成 2 6 年 8 月 2 1 日提出

倉吉市教育委員会教育長 福井 伸一郎